

令和8年3月16日

発 言 者	発 言 要 旨
【議第66号に対する質疑】	
橋本委員	衛星通信システム第三世代化に伴う工事の指定機器納入に遅れが生じた理由はどうか。
防災学習・防災DX推進課長	工事設計認証者である自治体衛星通信機構から仕様の認証を得る必要があるが、全国的に衛星通信システム第三世代化の工事が集中しており、当該機構との仕様の調整に時間を要している点、工事集中により指定機器の生産が需要に追い付いていない点により遅れが生じた。
橋本委員	納入時期の見込みはどうか。
防災学習・防災DX推進課長	令和8年3月末から逐次納入が始まることを確認している。
木村委員	全国における指定機器納入遅延の状況はどうか。
防災学習・防災DX推進課長	指定機器は豪雪地帯等の地域要件により、出力強度が異なっている。本県は豪雪地帯であり、出力強度が大きい指定機器を納入する必要があるが、他県においても納入遅延が生じている。
木村委員	気象庁における防災気象情報電文の仕様変更は、頻発化・激甚化している気象災害に対応するものと考えてよいか。
防災学習・防災DX推進課長	これまで、気象庁がそれぞれ発表する避難情報と防災気象情報の内容がリンクしておらず、避難の判断が分かりにくかったことから、これら情報がリンクするように、令和8年度から仕様変更されるものである。
森谷委員	県一斉指令システム改修業務と市町村及び消防本部のシステムとの関係性はどうか。
防災学習・防災DX推進課長	仕様変更された防災気象情報電文が県一斉指令システムを通じ、市町村及び消防本部に伝達されることとなる。